販売用資料

世界中の成長機会を発掘する。

フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド

Aコース（為替ヘッジあり）
Bコース（為替ヘッジなし）
Cコース
（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジあり）
Dコース
（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式

2024年11月

「投資信託説明書（交付目論見書）」のご請求・お申込みは…

大和証券
Daiwa Securities

<販売会社>
商号等　大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号
加入協会　日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会／一般社団法人日本STO協会

設定・運用は…

Fidelity INTERNATIONAL フィデリティ投信株式会社

<委託会社>
商号等　フィデリティ投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第388号
加入協会　一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

私たちには見える。
数年先、
世界を変える企業たちが。
いまはまだ、知られていない。
数年後に、世界的なインパクトを秘めた企業たち。
その成長機会を、あらゆる分野から発掘する。
それが、フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド。
世界最大級のリサーチ網と調査力で。
市場環境の変化に適応する機動的な運用で。
長期的な成長をとらえ、分散型でありながら
インデックスを超えるリターンを創出する。
フィデリティなら、叶えられる。
世界中の成長機会を発掘する。
GROWTH
フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド
OPPORTUNITY

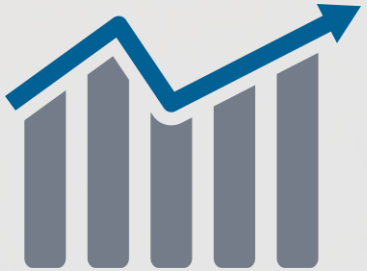
Q 「グロース・オポチュニティ・ファンド」の特長とは？

A 幅広い成長機会を発掘し、企業の持続的な成長をとらえるファンドです。

幅広く発掘

フィデリティのグローバルな運用体制を
活用し、幅広い国・地域や業種から
より多くの有望な成長銘柄を発掘。

×



持続的に成長

長期的かつ持続的な成長を重視。
中長期の成長性に対して
割安な銘柄に投資。

（注）上記はイメージであり、実績ではありません。2024年8月末時点。ファンドの戦略をご理解いただくための参考として掲載しています。今後予告なく変更する可能性があります。

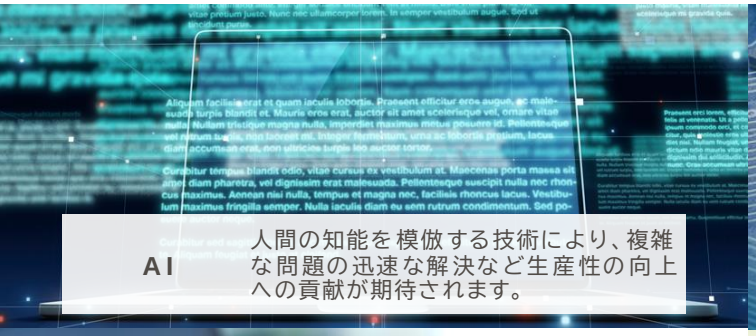
最終ページの「ご注意点」を必ずご確認ください。

GROWTH OPPORTUNITY
フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド

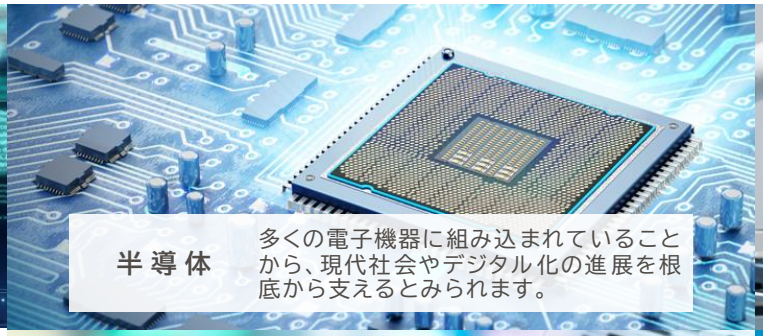
幅広く発掘×持続的に成長

幅広い業種から有望銘柄に分散投資

成長の機会は、あらゆる産業に存在します。
投資先をしっかりと分散しながら幅広い投資機会を発掘します。



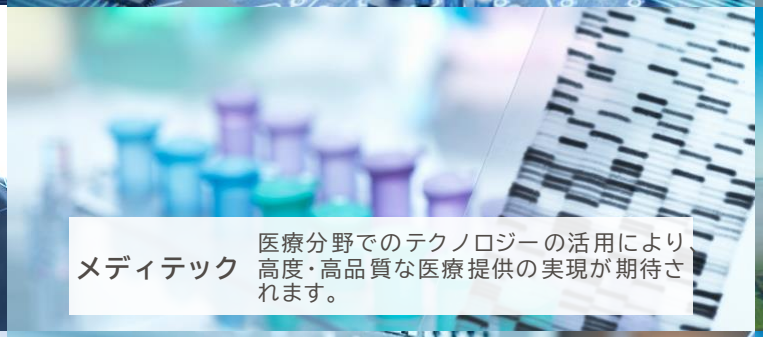
AI
人間の知能を模倣する技術により、複雑な問題の迅速な解決など生産性の向上への貢献が期待されます。



半導体
多くの電子機器に組み込まれていることから、現代社会やデジタル化の進展を根底から支えるとみられます。

ロボティクス
ロボットの活用により、効率的な作業や高度なタスクの実行が可能になると考えられます。

ペイメント
決済手段の多様化により、リアルタイムな支払いを可能にし、消費活動を支えると見込まれます。

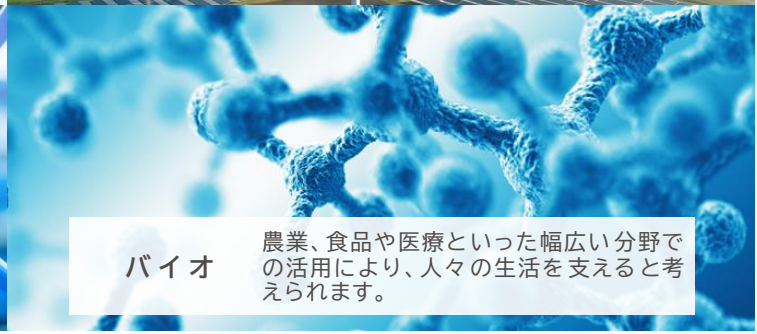


メディテック
医療分野でのテクノロジーの活用により高度・高品質な医療提供の実現が期待されます。

再生可能エネルギー
地球温暖化への抑制を通じて、世界の持続可能な成長の実現に寄与すると考えられます。

モビリティ
自動車等の移動サービスにより、移動に係る利便性向上や人々の移動手段確保に資すると見込まれます。

デジタルインフラ
データ通信量の増加を背景に、データセンターといったデジタル化を支える基盤が必要不可欠とみられます。



バイオ
農業、食品や医療といった幅広い分野での活用により、人々の生活を支えると考えられます。

（注）フィデリティ投信作成。上記はイメージであり、実績ではありません。2024年8月末時点。

最終ページの「ご注意点」を必ずご確認ください。

Fidelity INTERNATIONAL

GROWTH
フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド
OPPORTUNITY

幅広く発掘×持続的に成長

多角的アプローチで成長への確信度を向上

多角的な視点に基づく調査・分析を通じて、優れた高成長企業を選別します。

- 長期的な追い風
- 製品・サービスの将来的な認知度向上
- 期待できる最大市場規模

社会的な変化に伴い、製品・サービスの長期的な利用拡大が見込まれるかどうか。

- 競争環境
- 代替の脅威

高い参入障壁や類を見ない製品・サービスを有しているか。

- 売り手・買い手の交渉力

製品・サービスが差別化され、売り手は買い手に対して、買い手は売り手に対して強い影響力を有しているか。

- 経営の質
- 資本政策

経営戦略が優れているか。経営者にリーダーシップがあるか。効率的な資本配分（自社株買いなど）がなされているか。

（注）フィデリティ投信作成。上記はイメージであり、実績ではありません。2024年8月末時点。

最終ページの「ご注意点」を必ずご確認ください。

Fidelity INTERNATIONAL

幅広く発掘×持続的に成長

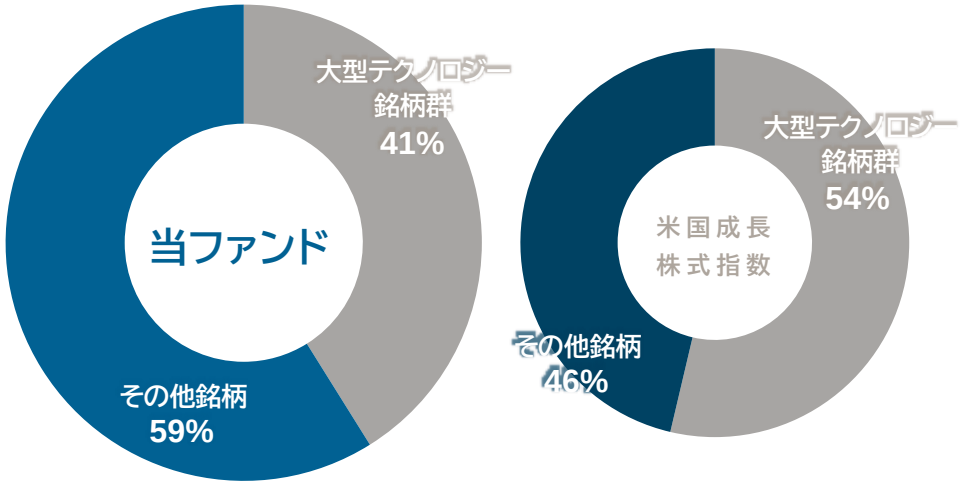
大型株のみならず中小型株にも積極投資

GROWTH
フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド
OPPORTUNITY

企業規模や知名度、短期的な業績にとらわれることなく、
成長力を重視し企業を選別、投資します。

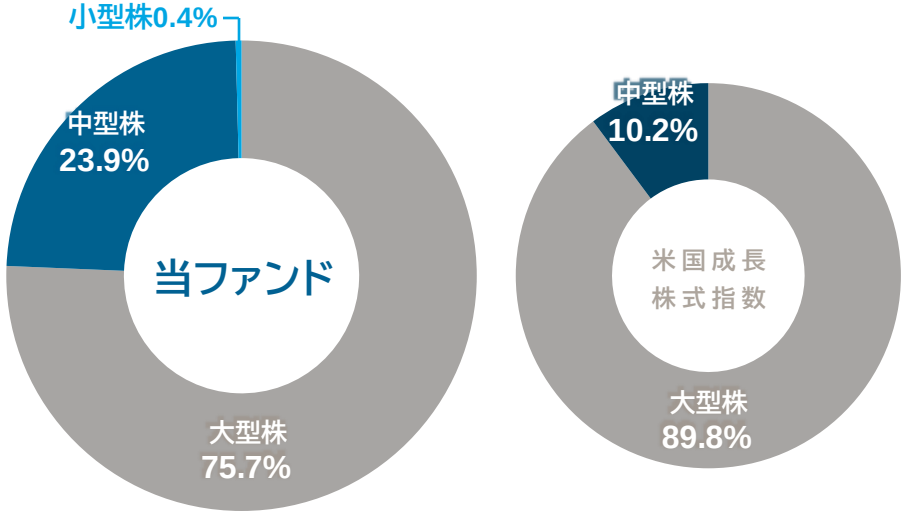
大型テクノロジー株に依存しない運用

大型テクノロジー株の投資比率



より成長力の高い中小型株に厳選投資

中小型株の保有比率



（注）LSEGよりフィデリティ投信作成。米国成長株式指数：Russell 1000 Growth Index。米ドルベース。2024年8月末時点。全保有株式を100%とした場合の個別銘柄のウエイトを時価総額別に積み上げたもの。左図：大型テクノロジー銘柄群はマグニフィセント・セブンと呼ばれる銘柄で、Microsoft、Apple、Amazon、Alphabet、Meta Platforms、Tesla、NVIDIA。右図：LSEGよりフィデリティ投信作成。株式の区分は時価総額ベースで、大型株：500億米ドル以上、中型株：20億米ドル以上500億米ドル未満、小型株：20億米ドル未満、左記以外はその他としています。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。掲載されている個別の銘柄・企業名については、あくまで参考として述べたものであり、その銘柄又は企業の株式等の売買を推奨するものではありません。また、ファンドへの組み入れを保証するものではありません。

最終ページの「ご注意点」を必ずご確認ください。

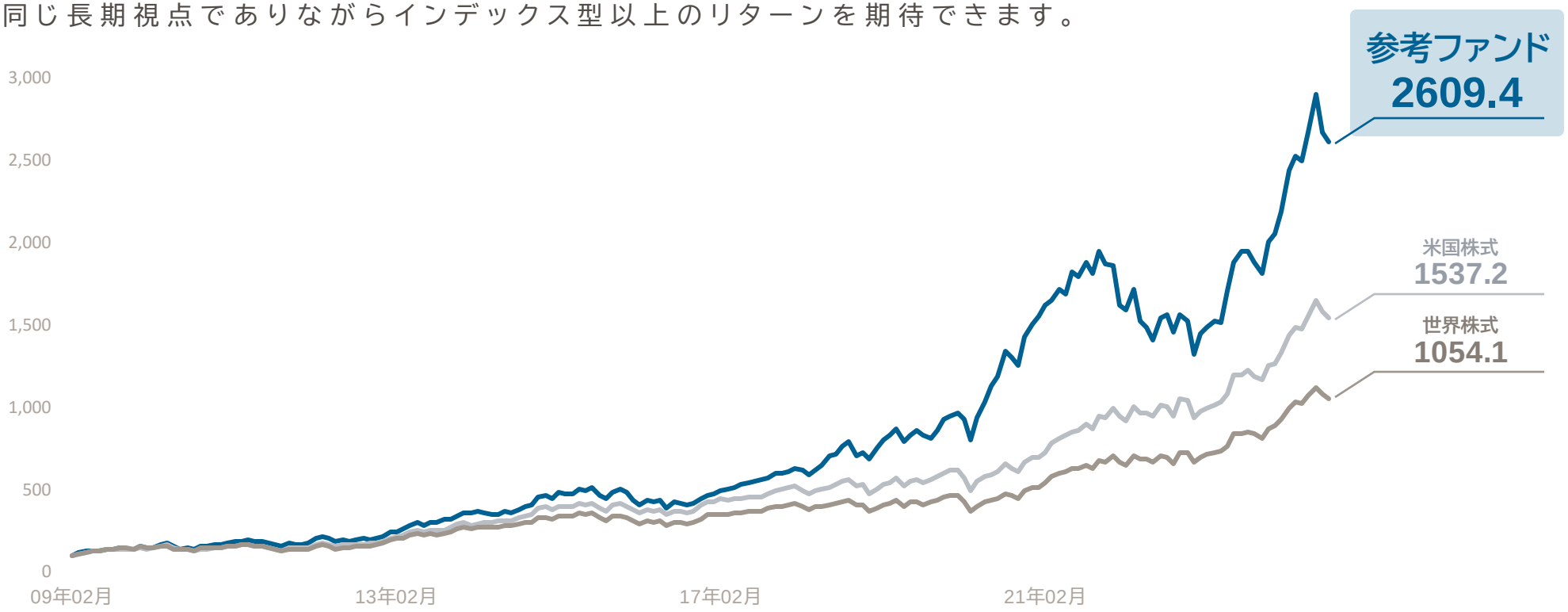
Fidelity INTERNATIONAL

GROWTH
フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド
OPPORTUNITY

幅広く発掘×持続的に成長

長期視点でインデックス型以上のリターンを追求

長期向きとされるインデックス型ファンドですが、基本的に市場平均を大きく超えるリターンは得られません。
長期アクティブ型の当ファンドは、世の中が注目する前の割安銘柄が対象なので、
同じ長期視点でありながらインデックス型以上のリターンを期待できます。



（注）FMR Co、LSEGよりフィデリティ投信作成。米国株式：S&P500種指数（税引前配当込み）、世界株式：MSCI Worldインデックス（税引前配当込み）。円ベース。期間は2009年2月末～2024年8月末の月次データ。期初を100として指数化。チャートの期間については、金融危機前後で経済・金融市場の環境が大きく変化したことを踏まえ、金融危機後の直近の長期上昇局面における起点となる2009年2月末を開始時点とする。

参考ファンドの実績は、当ファンドの投資対象である「フィデリティ・グロース・オポチュニティ・マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「フィデリティ・アドバイザー・グロース・オポチュニティーズ・ファンド クラスA」の実績です。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・グロース・オポチュニティ・マザーファンド」の運用実績ではありません。また、「フィデリティ・グロース・オポチュニティ・マザーファンド」とは費用等が異なります。

※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

最終ページの「ご注意点」を必ずご確認ください。

Fidelity INTERNATIONAL

GROWTH
フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド
OPPORTUNITY

幅広く発掘×持続的に成長

上昇相場で特に強みを発揮

当戦略の参考ファンドは上昇局面において大きな成長を見せています。

各局面の騰落率	世界金融危機後 2009年2月末～2010年4月末	欧州債務危機後 2011年9月末～2018年9月末	米中貿易摩擦後 2018年12月末～2019年12月末	コロナ・ショック後 2020年3月末～2021年12月末
参考ファンド	**73%**	**425%**	**38%**	**132%**
米国株式	59%	342%	30%	100%

（注）FMR Co、LSEGよりフィデリティ投信作成。米国株式：S&P500種指数（税引前配当込み）。各上昇局面は2009年2月末～2024年8月末において、S&P500種指数（米ドルベース）が、世界金融危機、欧州債務危機、米中貿易摩擦、コロナ・ショックにおいて最安値となった月を開始時点とし、その後継続（※）してS&P500種指数が上昇し、その局面の高値を終点とする期間。※継続とは、1年以上にわたって、直近高値から10%以上下落しない局面のこと。騰落率は各局面の期初と期末の差。騰落率は円ベース。

参考ファンドの実績は、当ファンドの投資対象である「フィデリティ・グロース・オポチュニティ・マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「フィデリティ・アドバイザー・グロース・オポチュニティーズ・ファンド クラスA」の実績です。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・グロース・オポチュニティ・マザーファンド」の運用実績ではありません。また、「フィデリティ・グロース・オポチュニティ・マザーファンド」とは費用等が異なります。

※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

最終ページの「ご注意点」を必ずご確認ください。

Fidelity INTERNATIONAL

Q 「分散×長期」で成果を上げるためのポイントとは？

A 世界規模のリサーチ力と機動的な運用、フィデリティの強みを最大限に活用。

フィデリティの強み

世界規模のリサーチ力

世界最大級のリサーチ網と
綿密な企業調査・分析をもとに、
企業の将来の成長性を高い確度で見極めます。

×

フィデリティの強み

機動的な運用

3-7年先を見据えつつも、
市場環境の変化に適応するために、
保有株数の変更を機動的に行います。

（注）上記はイメージであり、実績ではありません。2024年8月末時点。ファンドの戦略をご理解いただくための参考として掲載しています。今後予告なく変更する可能性があります。

最終ページの「ご注意点」を必ずご確認ください。

世界規模のリサーチ力

世界最大級の運用体制で魅力的な銘柄を発掘

GROWTH
フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド
OPPORTUNITY

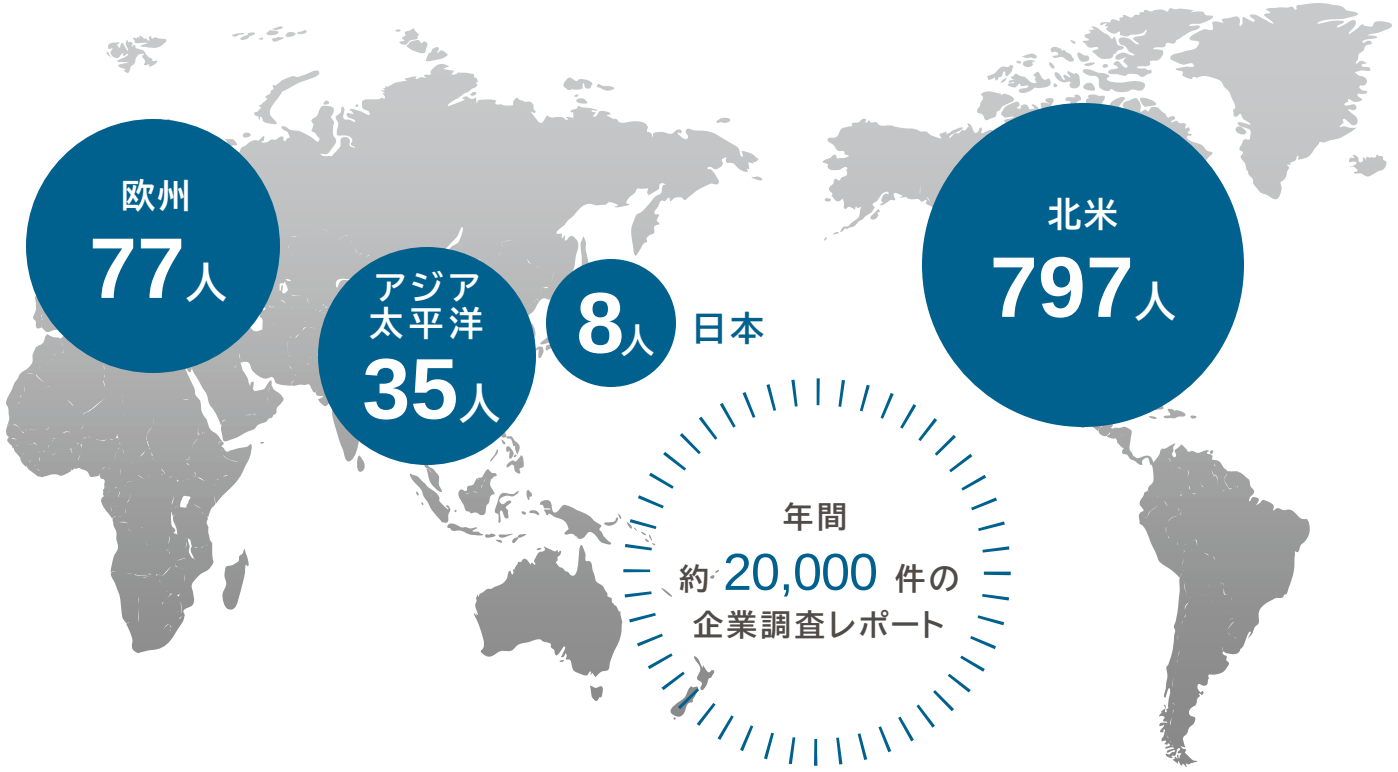
市場がまだ気づいていない成長銘柄を徹底的に発掘します。
フィデリティの根幹である、グローバル規模の調査ネットワークと綿密な個別企業調査。

情報の横断的な相互共有が、当社独自のファンダメンタルズ分析の強み

世界最大級の運用体制

全世界で **910**人以上の
運用プロフェッショナル

- ポートフォリオ・マネージャー(PM)
- 当ファンドが関連する業界のアナリスト
- 他ファンドのPM
- 他業界のアナリスト
- 他地域のアナリスト



(注)FMR Coよりフィデリティ投信作成。運用プロフェッショナル数は2023年12月末時点。ポートフォリオ・マネージャー、アナリスト、トレーダー、部門マネジメント等を含んだ人数。企業調査レポート数は、株式運用チーム全体での2023年の作成数。

最終ページの「ご注意点」を必ずご確認ください。

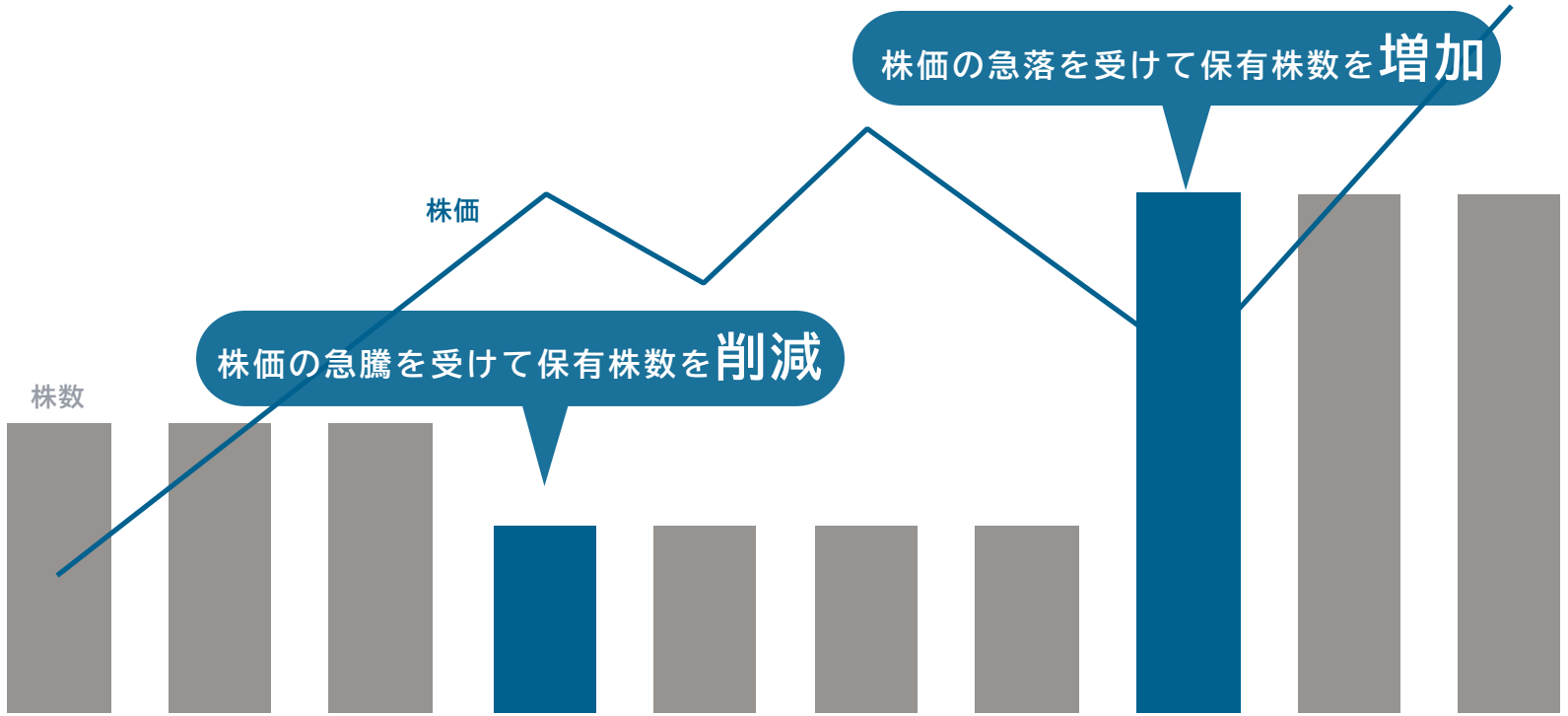
Fidelity INTERNATIONAL

機動的な運用

株価の変動を踏まえて機動的に保有株数を調整

3-7年先を見据えつつも、市場の変化に柔軟に対応。
株価の変動をとらえ、ポジション(保有株数)の追加や削減を機動的に行います。

機動的な保有株数変化のイメージ図



(注)上記はイメージであり、実績ではありません。2024年8月末時点。ファンドの戦略をご理解いただくための参考として掲載しています。

最終ページの「ご注意点」を必ずご確認ください。

銘柄紹介 1

テクノロジーの進化・普及の追い風を受ける高成長銘柄に投資
エヌビディア

高い競争優位性、強力な価格決定力を有する。

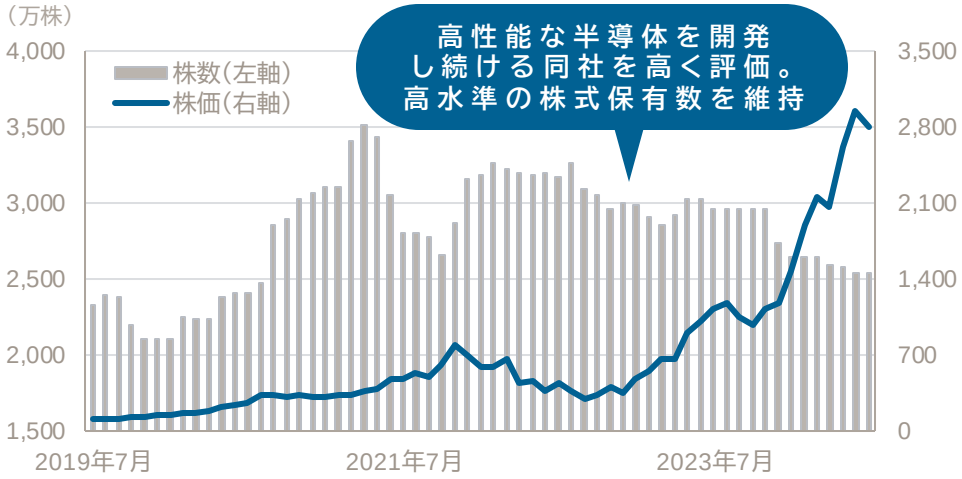
企業概要 画像処理半導体（GPU）メーカー。生成AI（人工知能）や大規模言語モデル（LLM）に対応した「H100」や画像生成AIなど推論AIに特化した「L4」など超高速GPUに強み。

注目点 比類なき性能を有する半導体を世の中に送り出し、強力な価格決定力を備える。AIやデータセンターといった分野における半導体需要の高まりの恩恵を受ける公算。

テクノロジーの進化に伴い収益機会が拡大

AIや自動運転の進化・普及に伴い収益の拡大が見込まれる

保有株数と株価の推移



（注）FMR Co、LSEGよりフィデリティ投信作成。左図：NVIDIA「Investor Presentation February 27, 2023」より。*2022年実績。右図：株数、株価の期間は2019年7月末～2024年7月末。米ドルベース。月次データ。株価は期初を100として指数化。掲載されている個別の銘柄・企業名については、あくまで参考として述べたものであり、その銘柄又は企業の株式等の売買を推奨するものではありません。また、ファンドへの組み入れを保証するものではありません。

当ファンドの投資対象である「フィデリティ・グロース・オポチュニティ・マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「フィデリティ・アドバイザー・グロース・オポチュニティーズ・ファンド」の組み入れ事例です。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・グロース・オポチュニティ・マザーファンド」の事例ではありません。

※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

最終ページの「ご注意点」を必ずご確認ください。

Fidelity INTERNATIONAL

グローバルに広がる収益機会を調査
ウーバー・テクノロジーズ

画期的な製品・サービスの保有、利益成長を遂げる潜在力。

企業概要

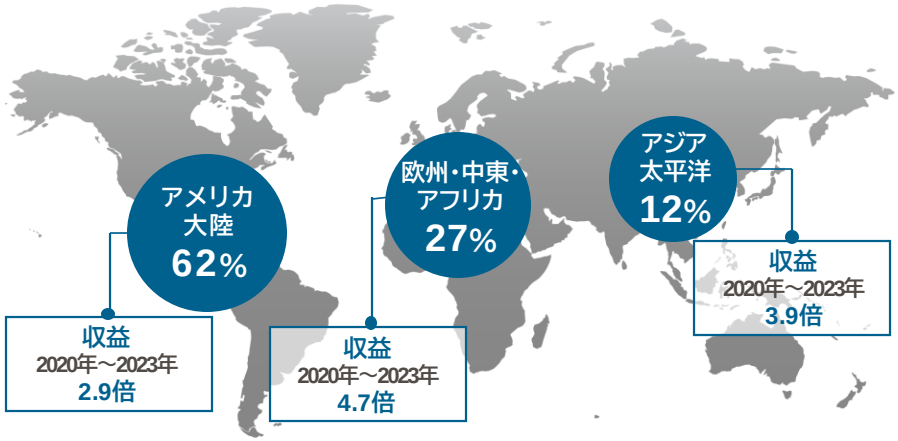
消費者を乗車サービスや食品配達サービスの従事者とマッチングするプラットフォームを提供。世界70カ国、1万都市以上でサービスが利用可能なほか、モビリティサービスでは1日2,100万回以上の利用がある。

注目点

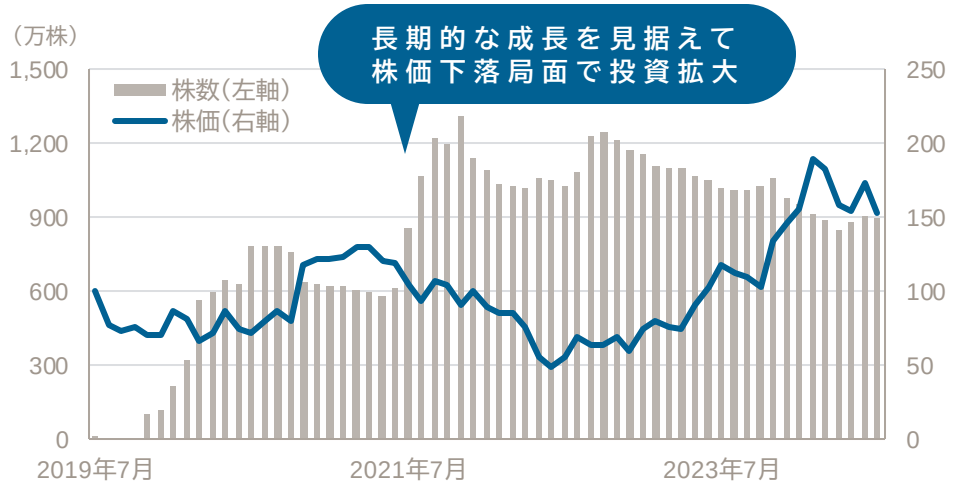
乗車サービスや食品配達サービスの社会的な普及を背景に収益が拡大。経済活動正常化が進むなかライドシェアサービスの需要が増加する見込み。競合他社比での中長期的な優位性を考慮して投資。

グローバルに広がる収益機会

ウーバー・テクノロジーズの地域別収益比率と収益の変化



保有株数と株価の推移



（注）FMR Co、LSEGよりフィデリティ投信作成。左図：地域別収益比率は2023年末。収益は2020年と2023年の比較。右図：株数、株価の期間は2019年7月末～2024年7月末。株価は期初を100として指数化。月次データ。掲載されている個別の銘柄・企業名については、あくまで参考として述べたものであり、その銘柄又は企業の株式等の売買を推奨するものでは ありません。また、ファンドへの組み入れを保証するものではありません。

当ファンドの投資対象である「フィデリティ・グロース・オポチュニティ・マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「フィデリティ・アドバイザー・グロース・オポチュニティーズ・ファンド」の組み入れ事例です。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・グロース・オポチュニティ・マザーファンド」の事例ではありません。

※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

最終ページの「ご注意点」を必ずご確認ください。

Fidelity INTERNATIONAL

銘柄紹介 3

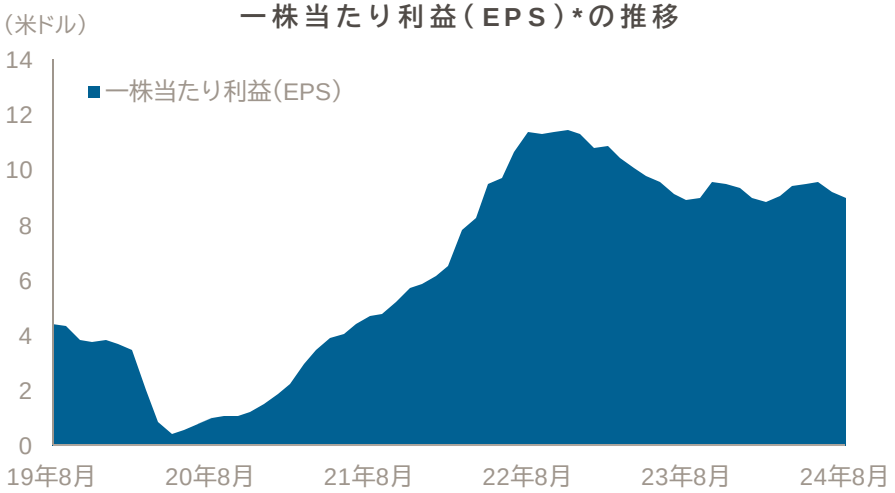
企業が構造変化するタイミングで投資
エクソン・モービル・コーポレーション

企業収益の急激な変化、強力なキャッシュフロー創出力。

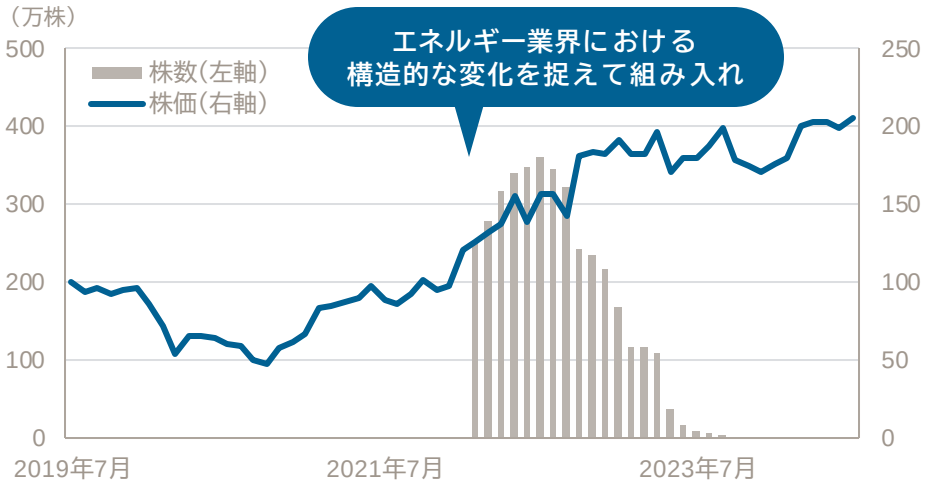
企業概要
原油や天然ガスの探査・生産ならびに石油製品・石油化学製品などの製造・取引・輸送・販売を行う。足元では老朽化資産の売却を進めている。

注目点
再生可能エネルギーが炭化水素系エネルギー源を代替できるまでの間、化石燃料に関する生産能力増強の機会が限られる見通し。ただ、天候要因によってエネルギー市場が急変動する可能性などを勘案したほか、バリュエーションが高まるなか足元では利益確定のため売却。

V字回復を遂げる業績
一株当たり利益（EPS）*の推移



保有株数と株価の推移



（注）FMR Co、LSEGよりフィデリティ投信作成。左図：期間は2019年8月末～2024年8月末。*一株当たり利益（EPS）は12カ月先予想。米ドルベース。右図：株数、株価の期間は2019年7月末～2024年7月末。株価は期初を100として指数化。月次データ。掲載されている個別の銘柄・企業名については、あくまで参考として述べたものであり、その銘柄又は企業の株式等の売買を推奨するものではありません。また、ファンドへの組み入れを保証するものではありません。

当ファンドの投資対象である「フィデリティ・グロース・オポチュニティ・マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「フィデリティ・アドバイザー・グロース・オポチュニティーズ・ファンド」の組み入れ事例です。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・グロース・オポチュニティ・マザーファンド」の事例ではありません。

※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

最終ページの「ご注意点」を必ずご確認ください。

Fidelity INTERNATIONAL

組入上位銘柄（2024年8月時点）

グロース・オポチュニティ・ファンドの組入銘柄

全銘柄数	91	S&P500種指数との共通銘柄数	44

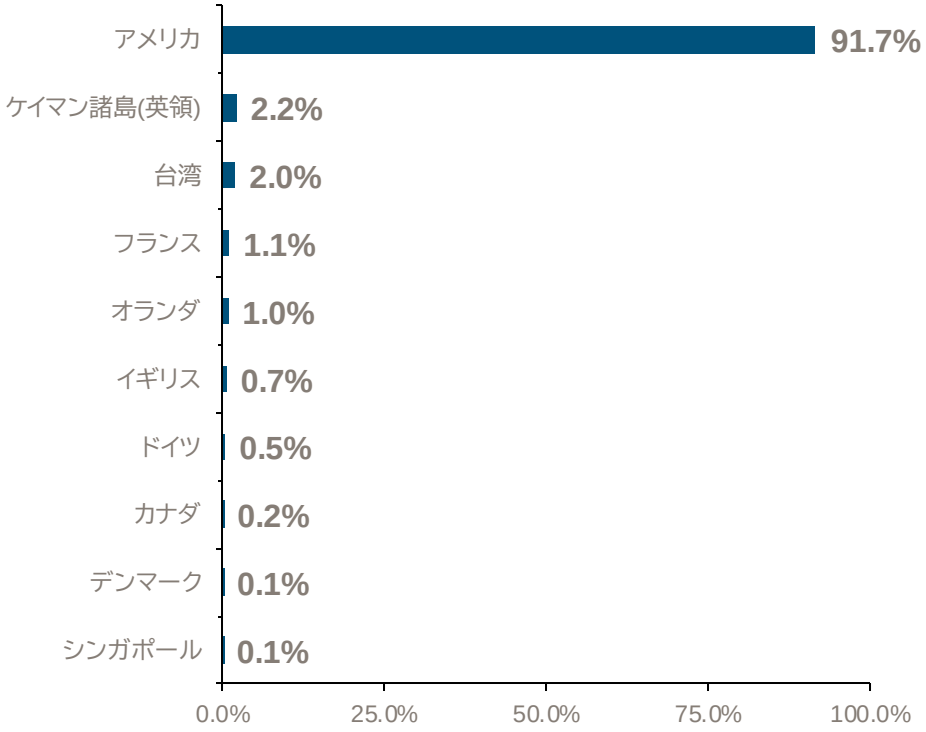
銘柄	業種	国・地域	概要	組入比率
メタ・プラットフォームズ	コミュニケーション・サービス	米国	「フェイスブック」や「インスタグラム」といったアプリケーションを提供するファミリーアプリ事業とメタバース関連のリアリティラボ事業からなる。人工知能（AI）分野への取り組みも強化中。	8.0%
アップル	情報技術	米国	スマートフォンやPC、タブレット、ウェアラブル端末の設計や販売を行い、関連する多様なサービスも提供。	7.3%
マイクロソフト	情報技術	米国	ソフトウェアメーカーとして、圧倒的なシェアを誇る「Windows」や「Office」などを手がける。加えて、成長性の高いクラウド事業を拡大し、クラウド・プラットフォーム「Azure」など提供。	6.5%
アマゾン・ドット・コム	一般消費財・サービス	米国	小売りウェブサイト「Amazon」や、電子書籍関連サービス「Kindle」に加えて、クラウドでウェブサイトやビッグデータなどのソリューションを提供する「Amazon Web Services（AWS）」事業を手がける。	6.4%
アルファベット（クラスC）	コミュニケーション・サービス	米国	グーグルのすべての発行済み株式を所有。傘下には、健康事業や在宅ビジネスを手がける企業も含む。	5.5%
エヌビディア	情報技術	米国	コンピューターの画像描写や演算の処理を行う半導体チップ等を開発する半導体メーカー。	4.9%
ブロードコム	情報技術	米国	半導体の開発、設計、販売に従事。通信インフラやデータセンターなどに関連する製品を手掛ける。積極的な企業買収を通じて成長。	3.8%
ウーバー・テクノロジーズ	資本財・サービス	米国	消費者を乗車サービスや食品配達サービスの従事者とマッチングするプラットフォームを提供。世界70カ国、1万都市以上でサービスが利用可能。	3.6%
イーライリリー	ヘルスケア	米国	米製薬大手。糖尿病治療薬に強み。病院等で処方される医療用医薬品に特化して事業を展開。	3.2%
ロク	コミュニケーション・サービス	米国	米国を中心に、スマートTV向け機器を通じてストリーミング視聴サービスをユーザーに提供。	3.0%

（注）LSEGよりフィデリティ投信作成。2024年8月末時点。国・地域は発行国・地域を表示。業種はMSCI/S&P世界産業分類基準に準拠。対純資産総額比率。掲載されている個別の銘柄・企業名については、あくまで参考として述べたものであり、その銘柄又は企業の株式等の売買を推奨するものではありません。また、ファンドへの組み入れを保証するものではありません。

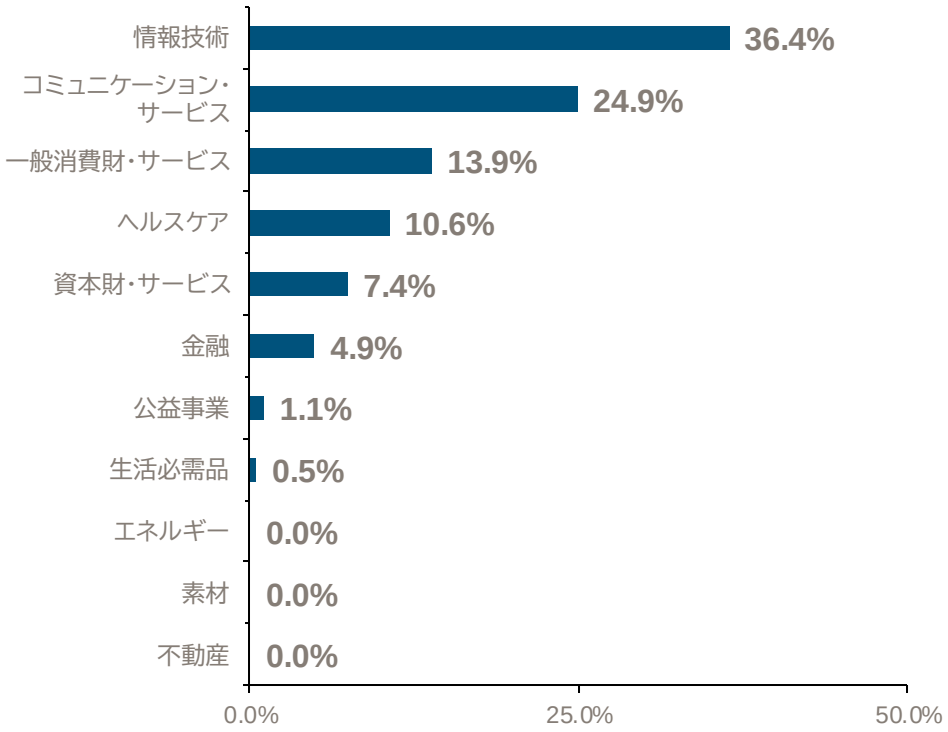
最終ページの「ご注意点」を必ずご確認ください。

国・地域、業種別配分とポートフォリオ特性（2024年8月時点）

国・地域別配分



業種別配分



（注）フィデリティ投信作成。2024年8月末時点。キャッシュ等は除く。業種はMSCI/S&P世界産業分類基準に準拠。
※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

最終ページの「ご注意点」を必ずご確認ください。

Fidelity INTERNATIONAL

Q インデックスではなく、アクティブファンドを選ぶべき理由とは？

A NISAなど、長期投資が前提なら、より高いリターンを目指すアクティブファンドの活用も効果的。

指数を上回るリターンを目指す

アクティブファンド

長期的に成長力の高い銘柄を発掘。
環境の変化に応じて銘柄を入れ替えることで、
下落幅を抑えつつ高いリターンを目指す。

指数と同じリターンを目指す

インデックスファンド

成長力の低い銘柄にも投資せざるを得ない
ため、非効率になる可能性がある。

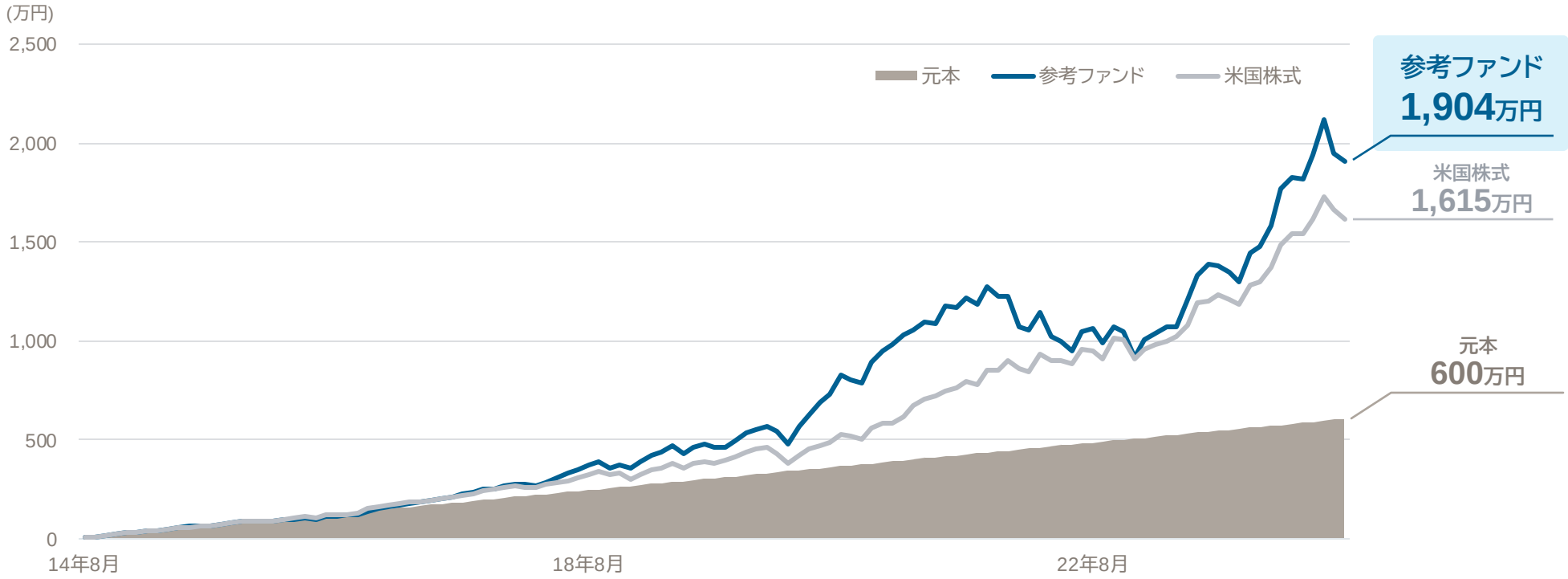
アクティブファンドとインデックスファンドの値動きのイメージ

（注）上記はイメージであり、すべての場合に当てはまるものでありません。フィデリティ投信作成。

最終ページの「ご注意点」を必ずご確認ください。

10年長期積立の推移

10年長期積立推移



（注）FMR Co、LSEGよりフィデリティ投信作成。円ベース。米国株式：S&P500種指数（税引前配当込み）。期間は2014年8月末～2024年8月末。期間初から積立を開始、その後毎月末に積立を行うと仮定し、最終月末には積立を行わない。右端は2024年8月末時点の金額、千円以下は四捨五入した金額を表示。参考ファンドの実績はフィー控除後。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮せず。

参考ファンドの実績は、当ファンドの投資対象である「フィデリティ・グロース・オポチュニティ・マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「フィデリティ・アドバイザー・グロース・オポチュニティーズ・ファンド クラスA」の実績です。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・グロース・オポチュニティ・マザーファンド」の運用実績ではありません。また、「フィデリティ・グロース・オポチュニティ・マザーファンド」とは費用等が異なります。

※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

最終ページの「ご注意点」を必ずご確認ください。

Fidelity INTERNATIONAL

ファンドの特色

1 フィデリティ・グロース・オポチュニティ・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、主として世界（除く日本）の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている企業の株式に投資を行ない、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。

2 企業の成長性や業績に対する株価の割安度に着目し、運用成果の向上を目指します。

3 個別銘柄選択にあたっては、世界の主要拠点のアナリストによる徹底的な企業分析や直接面談による調査を活かした「ボトム・アップ・アプローチ＊」により、魅力的な投資機会の発掘に注力します。

＊ボトム・アップ・アプローチとは、綿密な個別企業調査活動を行なうことにより、企業の将来の成長性や財務内容などファンダメンタルズを調査・分析し、その結果をもとに運用する手法です。

4 マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。

5 Aコース／Cコースは、実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。

Bコース／Dコースは、実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行ないません。

6 マザーファンドの運用にあたっては、FIAM　LLCに、運用の指図に関する権限を委託します。

※資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
※ファンドは「フィデリティ・グロース・オポチュニティ・マザーファンド」を通じて投資を行ないます。上記はファンドの主たる投資対象であるマザーファンドの特色および投資方針を含みます。

最終ページの「ご注意点」を必ずご確認ください。

Fidelity INTERNATIONAL

収益分配方針

収益分配方針（全コース共通）

- 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。
- 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行なうものではありません。
- 留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行ないます。

※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

収益分配方針（Aコース／Bコース）

毎決算時（原則8月20日。同日が休業日の場合は翌営業日。）に、原則として上記の収益分配方針に基づき分配を行ないます。

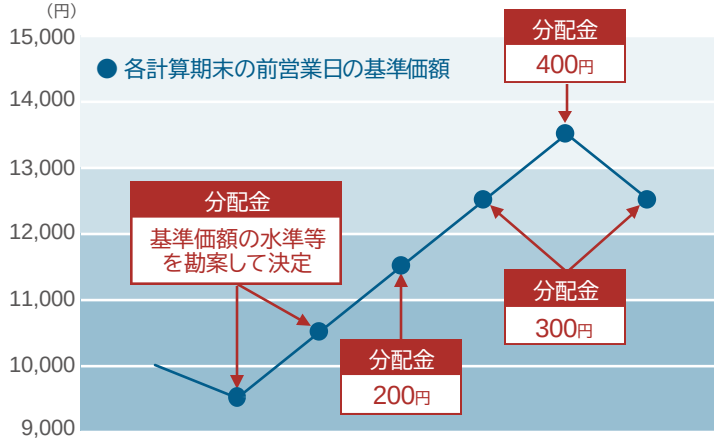
収益分配方針（Cコース／Dコース）

毎決算時（原則毎月20日。同日が休業日の場合は翌営業日。）に、原則として上記、及び以下の収益分配方針に基づき分配を行ないます。
毎計算期末の前営業日の基準価額に応じて、下記の金額の分配を目指します。

毎計算期末の前営業日の基準価額	分配金額（1万口当たり、税引前）
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
11,000円以上 12,000円未満	200円
12,000円以上 13,000円未満	300円
13,000円以上	400円

※毎計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等、基準価額水準や市場動向等によっては、委託会社の判断で上記とは異なる分配金額となる場合や分配金が支払われない場合があります。
※基準価額に応じて、分配金額は変動します。基準価額が上記表に記載された基準価額水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。
※分配金を支払うことにより基準価額は下落します。このため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。
※上記表に記載された基準価額および分配金額は将来の運用の成果を保証または示唆するものではありません。

● 基準価額と分配金のイメージ



※上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を保証または示唆するものではありません。

最終ページの「ご注意点」を必ずご確認ください。

Fidelity INTERNATIONAL

収益分配金に関する留意事項

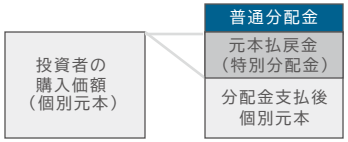
1 ファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、それぞれの投資者ご自身の個別元本の一部払戻しに相当する場合があります。
2 分配金は預貯金の利息とは異なり、分配金支払い後の純資産は減少し、基準価額の下落要因となります。
3 分配金は計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があり、その場合当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落します。

分配方針や頻度の異なるコースが存在する場合は、投資者は自身の選好に応じて投資するコースを選択することができます。販売会社によってはコース間でスイッチングが可能です。

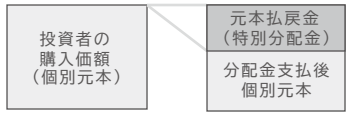
1

投資者のファンドの購入価額によっては分配金はその支払いの一部、または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
ファンドの購入価額は、個々の投資者によって異なりますので、投資期間全体での損益は、個々の投資者によって異なります。

分配金の一部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合



※普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）をご参照ください。

●「個別元本」とは、追加型投資信託の収益分配金や解約（償還）時の収益に対する課税計算をする際に用いる個々の投資者のファンドの購入価額のことを指します。
●「普通分配金」とは、個別元本（投資者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。
●「元本払戻金（特別分配金）」とは、個別元本を下回る部分からの分配金です。実質的に元本の払戻しに相当するため、非課税扱いとなります。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

2

分配金は、預貯金の利息とは異なります。分配金の支払いは純資産から行なわれますので、分配金支払い後の純資産は減少することになり、基準価額が下落する要因となります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

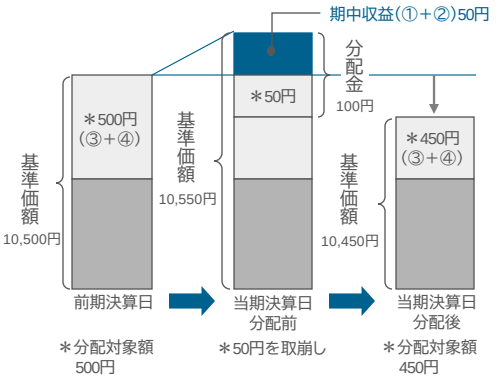
3

分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の利子・配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。計算期間におけるファンドの運用実績は、期中の分配金支払い前の基準価額の推移および収益率によってご判断ください。

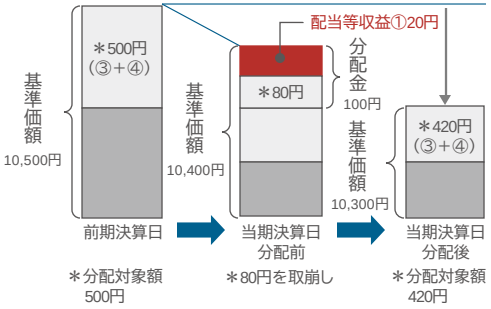
投資信託は、当期の収益の他に、ファンドの設定から当期以前の期間に発生して分配されなかった過去の収益の繰越分等からも分配することができます。

※分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、収益分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
※右記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意ください。

前期決算から基準価額が上昇 当期計算期間の収益がプラスの場合



前期決算から基準価額が下落 当期計算期間の収益がマイナスの場合



最終ページの「ご注意点」を必ずご確認ください。

Fidelity INTERNATIONAL

投資リスク

⚠ 基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。
ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。
したがって、投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。
ファンドが有する主なリスク等(ファンドが主に投資を行なうマザーファンドが有するリスク等を含みます。)は以下の通りです。

⚠ 主な変動要因

価格変動リスク

基準価額は有価証券等の市場価格の動きを反映して変動します。有価証券等の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる場合があります。

為替変動リスク

Aコース／Cコースは為替ヘッジを行なうことで、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジを行なう際には当該通貨と円の金利差相当分のヘッジコストがかかる場合があります。Bコース／Dコースは為替ヘッジを行なわないため、外貨建の有価証券等に投資を行なう場合には、その有価証券等の表示通貨と日本円との間の為替変動の影響を受けます。

エマージング市場に関わるリスク

エマージング市場(新興諸国市場)への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券の価格変動が大きくなる場合があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

⚠ その他の留意点

クーリング・オフ

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

流動性リスク

ファンドは、大量の解約が発生し短期間に解約資金を手当てする必要が生じた場合や、主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスクや、取引量が限られるリスク等があります。その結果、基準価額の下落要因となる場合や、購入・換金受付の中止、換金代金支払の遅延等が発生する可能性があります。

デリバティブ(派生商品)に関する留意点

ファンドは、ヘッジ目的の場合等に限り、有価証券先物、各種スワップ、差金決済取引等のデリバティブ(派生商品)を用いることがあります。デリバティブの価格は市場動向などによって変動するため、基準価額の変動に影響を与えます。デリバティブが店頭取引の場合、取引相手の倒産などにより契約が履行されず損失を被る可能性があります。

最終ページの「ご注意点」を必ずご確認ください。

Fidelity INTERNATIONAL

ファンドの費用（大和証券でお申込みの場合）

お客さまが直接的に負担する費用

料率等		費用の内容
購入時手数料	購入金額に右記の購入時手数料率を乗じて得た額とします。 購入金額：（申込受付日の翌営業日の基準価額／1万口）×購入口数	商品及び関連する投資環境の説明・情報提供、事務手続き等の対価として、購入時に販売会社にお支払いいただきます。
換金時手数料	ありません。	－
信託財産留保額	ありません。	－
スイッチング（乗換え）手数料	ありません。	－

購入時手数料率

購入金額	手数料率
5千万円未満	3.30%（税抜3.0%）
5千万円以上1億円未満	2.20%（税抜2.0%）
1億円以上5億円未満	1.65%（税抜1.5%）
5億円以上	0.55%（税抜0.5%）

（ご参考）

口数指定で購入する場合	金額指定で購入する場合
例えば、基準価額10,000円の時に100万口ご購入いただく場合は、次のように計算します。 購入金額＝（10,000円／1万口）×100万口＝100万円 購入時手数料＝購入金額（100万円）×3.30%（税込）＝33,000円 となり、 購入金額に購入時手数料を加えた合計額103万3,000円をお支払いいただくこととなります。	購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額（お支払いいただく金額）となるよう購入口数を計算します。 例えば、100万円の金額指定で購入する場合、指定金額の100万円の中から購入時手数料（税込）をいただきますので、100万円全額が当該投資信託の購入金額とはなりません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

料率等		費用の内容
運用管理費用（信託報酬）	年1.6445%（税抜 1.495%）	ファンドの純資産総額に対し、左記の率を乗じた額が運用管理費用（信託報酬）として毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、Aコース／Bコースはファンドの毎計算期の最初の6ヵ月終了日（当該日が休業日の場合は翌営業日）及び毎計算期末または信託終了のとき、Cコース／Dコースは毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。
その他費用・手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等は、ファンドからその都度支払われます。ただし、運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を表示できません。	組入有価証券の売買委託手数料：有価証券の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 信託事務の諸費用等：投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用及び受託会社の立替えた立替金の利息
	法定書類等の作成等に要する費用、監査費用等は、ファンドの純資産総額に対して年率0.10%（税込）を上限とする額がファンドの計算期間を通じて毎日計上され、Aコース／Bコースは、毎計算期の最初の6ヵ月終了日（当該日が休業日の場合は翌営業日）及び毎計算期末または信託終了のときに、Cコース／Dコースは、毎年2月及び8月に到来する計算期末または信託終了のときに、ファンドから支払われます。	法定書類等の作成等に要する費用：有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷及び提出等に係る費用 監査費用：ファンドの監査人等に対する報酬及び費用

※当該手数料・費用等の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

最終ページの「ご注意点」を必ずご確認ください。

Fidelity INTERNATIONAL

お申込みメモ（大和証券でお申込みの場合）

購入単位	100円以上1円単位＊または100口以上1口単位 ＊購入時手数料および購入時手数料に対する消費税等に相当する金額を含めて、上記単位でご購入いただけます。 ※ただしスイッチングの場合は、1口単位です。
購入・換金価額	購入および換金申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当たり）
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から、お申込みの販売会社にてお支払いします。
スイッチング	各コース間にてスイッチングが可能です。 スイッチングに伴うご換金にあたっては、通常のご換金と同様に税金がかかります。
購入・換金申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークにおける銀行の休業日においては、スイッチングを含めお申込みの受付は行ないません。
申込締切時間	原則として、午後3時30分までに購入・換金の申込みに係る販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日のお申込み受付分とします。なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、詳細は販売会社にご確認ください。
設定日	2023年3月29日
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行なうため、大口のご換金には別途制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、及び既に受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消す場合があります。
信託期間	原則として無期限
繰上償還	各ファンドの受益権の残存口数が30億口を下回った場合等には、繰上償還となる場合があります。
決算日	Aコース／Bコース：原則、毎年8月20日 ※決算日にあたる日が休業日となった場合、その翌営業日を決算日とします。 Cコース／Dコース：原則、毎月20日 ※決算日にあたる日が休業日となった場合、その翌営業日を決算日とします。
収益分配	Aコース／Bコース： 年1回の決算時に、収益分配方針に基づいて、分配を行ないます。ただし、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。 販売会社との契約によっては、収益分配金は、税引き後無手数料で再投資が可能です。 Cコース／Dコース： 年12回の決算時に、収益分配方針に基づいて、分配を行ないます。ただし、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。 販売会社との契約によっては、収益分配金は、税引き後無手数料で再投資が可能です。
課税関係及び税金	課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。Aコース／Bコースは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。Cコース／Dコースは、NISAの対象ではありません。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 原則として、収益分配時の普通分配金ならびにご換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 ※上記は2024年9月末日現在のもので、税法が改正された場合等には、内容が変更される場合があります。

委託会社	フィデリティ投信株式会社	運用の委託先	FIAM LLC	受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社	販売会社	大和証券株式会社

最終ページの「ご注意点」を必ずご確認ください。

Fidelity INTERNATIONAL

MEMO

MEMO

MEMO

ご注意点

- 当資料はフィデリティ投信によって作成された最終投資家向けの投資信託商品販売用資料です。 投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。なお、当社は投資信託の販売について投資家の方の契約の相手方とはなりません。
- 投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。また、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入しておりません。
- 「フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンドAコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）」「フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンドCコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジあり）／Dコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし）」が投資を行なうマザーファンドは、主として世界（除く日本）の企業の株式等を投資対象としていますが、その他の有価証券に投資することもあります。
- ファンドの基準価額は、組み入れた株式やその他の有価証券の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、組み入れた株式やその他の有価証券の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。すなわち、保有期間中もしくは売却時の投資信託の価額はご購入時の価額を下回ることもあり、これに伴うリスクはお客様ご自身のご負担となります。
- ご購入の際は投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取りのうえ内容をよくお読みください。
- 投資信託説明書（交付目論見書）については、販売会社またはフィデリティ投信までお問い合わせください。なお、当ファンドの販売会社につきましては以下のホームページ（https://www.fidelity.co.jp/）をご参照ください。
- 当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。
- 当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値、運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- 当資料にかかわる一切の権利は引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部又は全部の無断での使用・複製は固くお断りいたします。

IM240924-3 CSIS240920-9　商品ページはこちら

Fidelity INTERNATIONAL